

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東大阪市営上小阪東住宅建替事業	階数	地上12F
建設地	大阪府東大阪市新上小阪	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	619 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年2月2日
敷地面積	7,967 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 市浦ハウジング&プランニング
建築面積	1,605 m <sup>2</sup>	確認日	2018年2月5日
延床面積	14,607 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 市浦ハウジング&プランニング 山田 敏人



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO <sub>2</sub> (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 3.0</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆☆☆</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Qのスコア = 3.8</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア = 3.6</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア = 3.8</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>Q3のスコア = 4.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LRのスコア = 4.0</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア = 4.4</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア = 3.8</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア = 3.8</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>街並みとの同調に努め、周辺への圧迫感を和らげる様な建築計画とした。また、高い外皮性能を計画し省エネルギーで快適な室内環境を整えるよう努めた。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>外皮性能として、住居部分の住宅性能表示5-1の断熱性能等級4を満たす計画とし、開口部を大きくすることで太陽光を取り込みやすい計画とした。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>躯体の耐用年数として、日本住宅性能表示基準による劣化等級3を満たす計画とし、耐用年数向上を計る計画とした。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>敷地内には適切に緑地を計画することで地表面温度上昇を極力抑える計画とした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>適切な断熱材を施し、外皮の熱負荷抑制に努め、日本住宅性能表示基準「5-1.断熱等性能等級」における等級4相当を実現した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>断熱材には代替フロンのもを採用することで、地球温暖化に対して配慮する計画とした。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>屋外照明に関して、広告物照明は設置せず、適正な範囲で計画して外に漏れる光に配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0148

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	東大阪市営上小阪東住宅建替事業					
		建設地	大阪府東大阪市新上小阪353番3,4,5					
		用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					S		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					4		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						対象外		
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				4.3	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体		4		
				住戸・宿泊	4.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					4.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					5.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					4.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					3.8	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				3.0	4	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				4.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				4.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								